

2014.09.07

白馬EV・PHVワンダーランド2014  
「EV・PHVを利用する観光と地域の活性化を考える」

「環境がこれからの観光の鍵だ！」

北海道大学大学院  
観光学高等研究センター  
客員教授 小林英俊

ところで、観光って何だ？

# スイスはいつから観光地になったのか



ゴルナー氷河

ミューレンの谷



## スイスはいつから観光地になったのか 16世紀までスイスは悪魔の住む怖いところ

- ルネッサンス絵画に山岳風景はあるか？

14－16世紀、人々は野生の自然には全く無  
関心で拒否感すら抱いていた

『風景の誕生』ピエール・カンポレージ著(筑摩書房1997)

- 今日的な意味での美しい風景は存在せず、ただ、土地の姿があっただけ 経済性の観点から見た空間  
「美しい土地」とは、有効に耕され、よく整備された田園
- 風景は鑑賞されるのではなく、観察され、測定され、記録されるものであった



「聖アンナと聖母子」



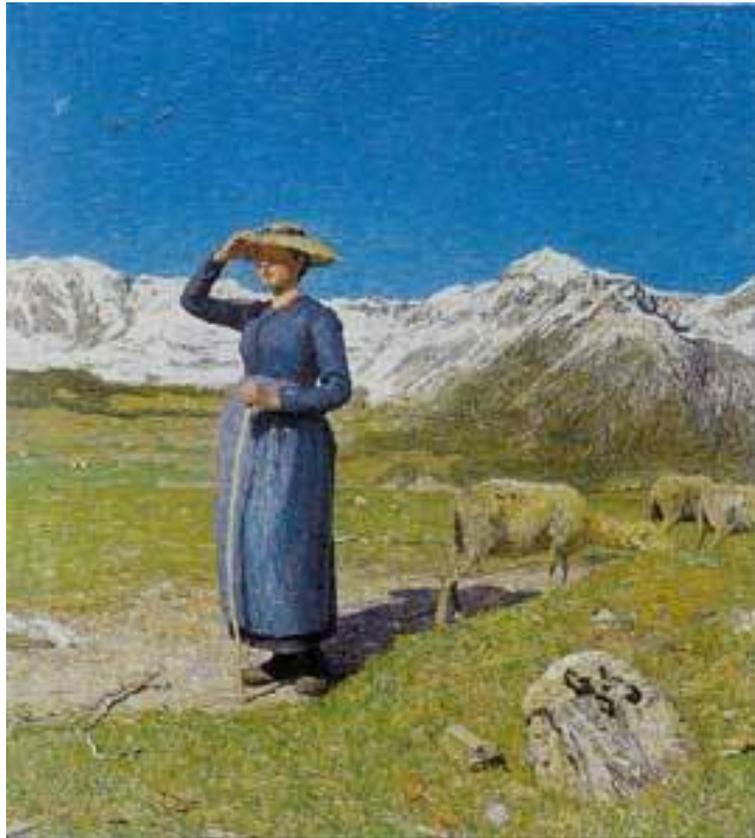
「モナリザ」

レオナルド・ダ・ヴィンチは、絵画の背景となる下絵を集めるために、1500年前後にアルプスの山岳景の素描に努めていた。

グリンデルワルト峡谷のパノラマ：ヴェッターホーン、メッテンベルク、  
アイガー キヤスパー・ウルフ1776年 The Aargauer Kunsthaus Aarau



18世紀後半、科学者や旅行者とともに芸術家によってスイスの山々の美が見出され始めました。それまでは背景の一部でしかなかった雄大なアルプスの山岳を、絵画の主題として描いたカスパー・ヴォルフの画業は、当時の情景を克明に伝えてくれます



18世紀後半以降、スイス絵画において、山々がモチーフとして取り上げられるようになっていきました。19世紀後半には、ジョヴァンニ・セガンティーニやフェルディナント・ホドラーらスイスの代表的な画家が登場します。彼らの描く山々そして風景は、全く新しい印象を人々に与えてことになっていきます。

アルプスの真昼 ジョヴァンニ・セガンティーニ  
1891年 Segantini Museum, St. Moritz

# スイスはいつから観光地になったのか モノの見方・価値観の変化

- 18世紀になり**信仰面**での教義の広がり  
物理神学、自然神学

世界(自然)の調和と美に対する称賛

- 18世紀後半になって**科学者**と**作家**がアルプスを「発見」

**美の新しい規範** ピクチャレスクな美

風景画が描かれることによって人々が風景の美しさを感じるようになる

ルソー「自然に帰れ」「新エロイーズ」

バイロン、ワーズワースなど ロマン主義

スイスが観光地になった背景  
社会基盤の整備・ソフトの整備

- 19世紀半ばにはイギリス人が団体で観光に押しかけて来るようになる  
鉄道網の発達 各地に登山鉄道  
近代旅行業 トーマスクック  
ガイドブック  
新興ブルジョワジー

観光は文化的な行為である

観光は多面的で複雑な社会現象である

# 観光とは文化的行為である

- 観光が成立するには、人々のモノの考え方、モノの見方が重要な役割  
(それを伝える手段も必要)
- 観光が成立するには、社会的な装置(ハード)や仕組み(ソフト)
- 観光は時代の持っている価値観が反映される
- 観光のあり方や今後を予測するには、時代の価値観とその変化を読み解く必要がある

# 同じ目に見える光景も、見る側の認識や価値観によって違うモノになる

現在の見方は、この風景を伝統的で美しいモノ、大切に保護すべき存在と考えるのが主流。



京都府南丹市美山町

しかし、同じ風景を経済的にも文化的にも遅れたモノ、一刻も早く近代的な町並みに変えるべきモノと考える時代がついこの間まであった



# これからの観光に影響する価値観

- 環境問題、環境に負荷をかけない生き方  
(スローライフ、ロハス)
  - 健康、長寿
  - 生活の質(QOL)へのこだわり
  - 心理的・精神的な充足(安らぎの環境、静かなこと)
  - 安全、安心(水や空気も)
  - 持続可能な社会づくり(ゼロエミッション)
  - 伝統工芸、匠の技の評価(地域文化の再評価)
- など

# スイスの山岳リゾート・サースフェー 環境に配慮しガソリン車の乗り入れ禁止

リヤカーで荷物を運ぶファミリー(旅行者)



まちの中は、許可された電気自動車だけが走るので、綺麗な空気と静かな環境が保たれている



# 電気自動車だけのスイスのリゾート・サースフェー

便利・効率性<<環境・持続可能性・安全・安心



スイス政府観光局HPより

美しい村は“アルプスの真珠”とも呼ばれ素朴な山村の雰囲気も魅力のひとつ。スノーボードのメッカとして世界的に有名。環境に配慮したガソリン車乗り入れ禁止リゾートで、電気自動車の走る村内は、美しい空気と静かな環境が保たれています。





村の入り口の駐車場  
一見すると2階建てに  
見える



サースフェーの立体駐車場(裏から見たところ)  
景観に配慮して建てられているので、正面からは10階建てには見えない



Logo: Energy Town Saas-Fee

## Saas-Fee: Energy Town

サースフェーは、2002年に「エナジータウン(エネルギーに配慮したまち)」の称号を取得。

エナジータウンは、持続可能な地域エネルギー政策を策定し、それを実行したコミュニティに与えられる称号。

再生可能エネルギー、環境に配慮した交通輸送手段、そして自然エネルギーなどの資源の活用を推進する。

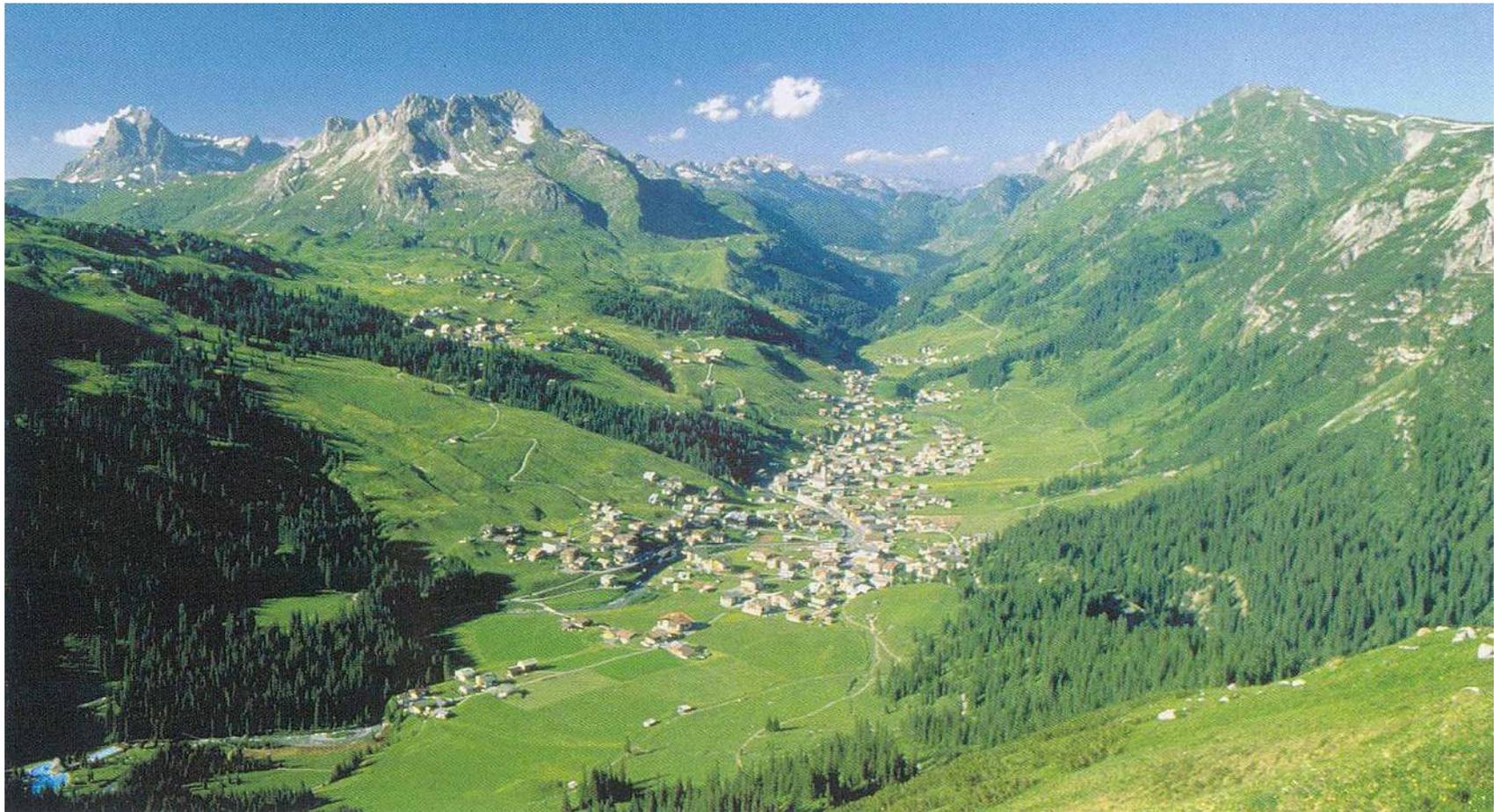
“Q for YOU” リゾート内の宿泊施設、レストラン、お土産店などにQマークを貼って品質保証をしている



スイスのファミリーリゾート、ガソリン車の入れないリーダーアルプ、  
子供向けの遊具が充実

# レッヒ村（オーストリア・チロル地方）

40前には120ベッドの寒村だったが、現在では  
6748ベッドの国際的な高質のリゾート



レッチ村のスキー場のゲレンデ；夏場にはお花畑に  
地元の大学と共同研究して土壌流出を起こさないゲレンデに



# Phytosociological report from the Lech Ski Lifts



Making snow early in the season  
does not create any expected  
changes to flora and fauna



**オーバーレツヒ集落のトンネル**  
冬場に静かな雪の山村風景を  
楽しんでもらうために地域で  
お金を出し合って造ったもの

**村の大型地下駐車場**

**地下二階式で800台  
収容**





統一感のある地域特有の山村風景

## 道路側からの眺め



## 裏庭側からの眺め



庭の地下には立派なプールとサウナ・エステ施設

## オーストリア レッヒ (Lech) 観光協会

### レッヒ カード

スポーツ、登山、文化体験への  
無料招待カード

### イベント

サステイナブルで上質な  
管理・運営

宿泊施設・レストランの  
紹介と予約

バーチャルなサイトからリアルへ



Mercedes-Benz

同じ哲学を持つベンツとパートナー協定

*Best of the Alps*<sup>®</sup>  
THE CLASSIC MOUNTAIN RESORTS

アルプスの5カ国12のリゾート連携

# 自然と調和した開発（1）



再生可能エ  
ネルギー

4箇所のバイオ  
マスを使った地  
域暖房プラント



車のない静かな  
オーバーレッチ

地下トンネル網  
電気カートで運搬



村営バス  
11台のバス  
6ルート  
120万人輸  
送



E-モビリティ  
電動バイク・  
電動自転車



植物園

地元植物の  
活用  
苗の配布



水質保全

地域あげて  
の水の管理

## 自然と調和した開発（2）



ソーラーパネル

最初から環境保全  
に取り組む



環境保全への表明  
と認証シール

環境保護を最優先



レツヒの各種団体

村のコミュにテイ活動を  
より活動的に

# Date your Dream Car



The Lech Summer Experience. 1  
August 2014 to 3 September 2014.

# 観光地と民間企業の協働

## 観光地(DMO)

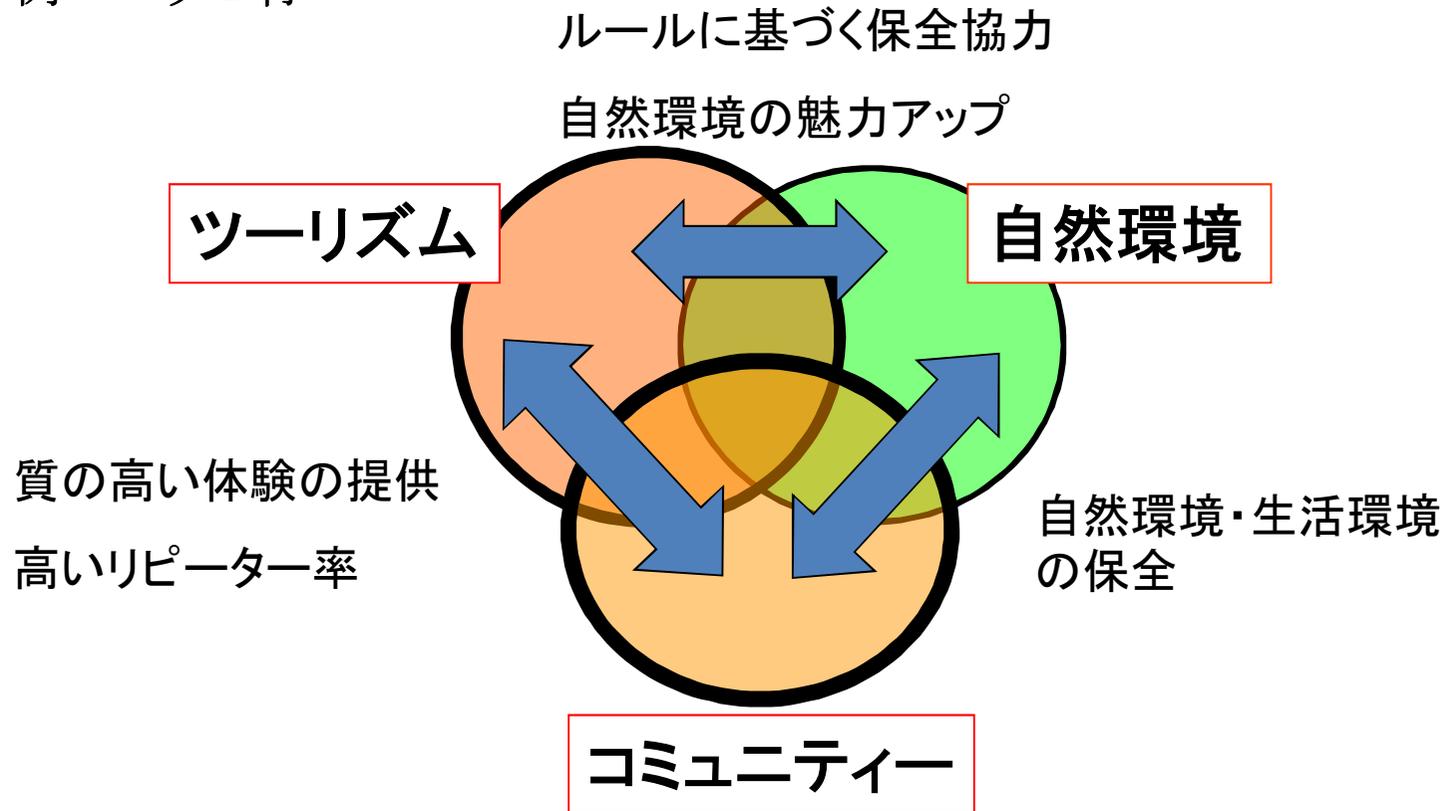
- 目指す観光地のコンセプト
- コンセプトが一致する企業と提携(パートナーシップ)
- パートナー企業からの現物支給・現金給付(DMOの評価指標)

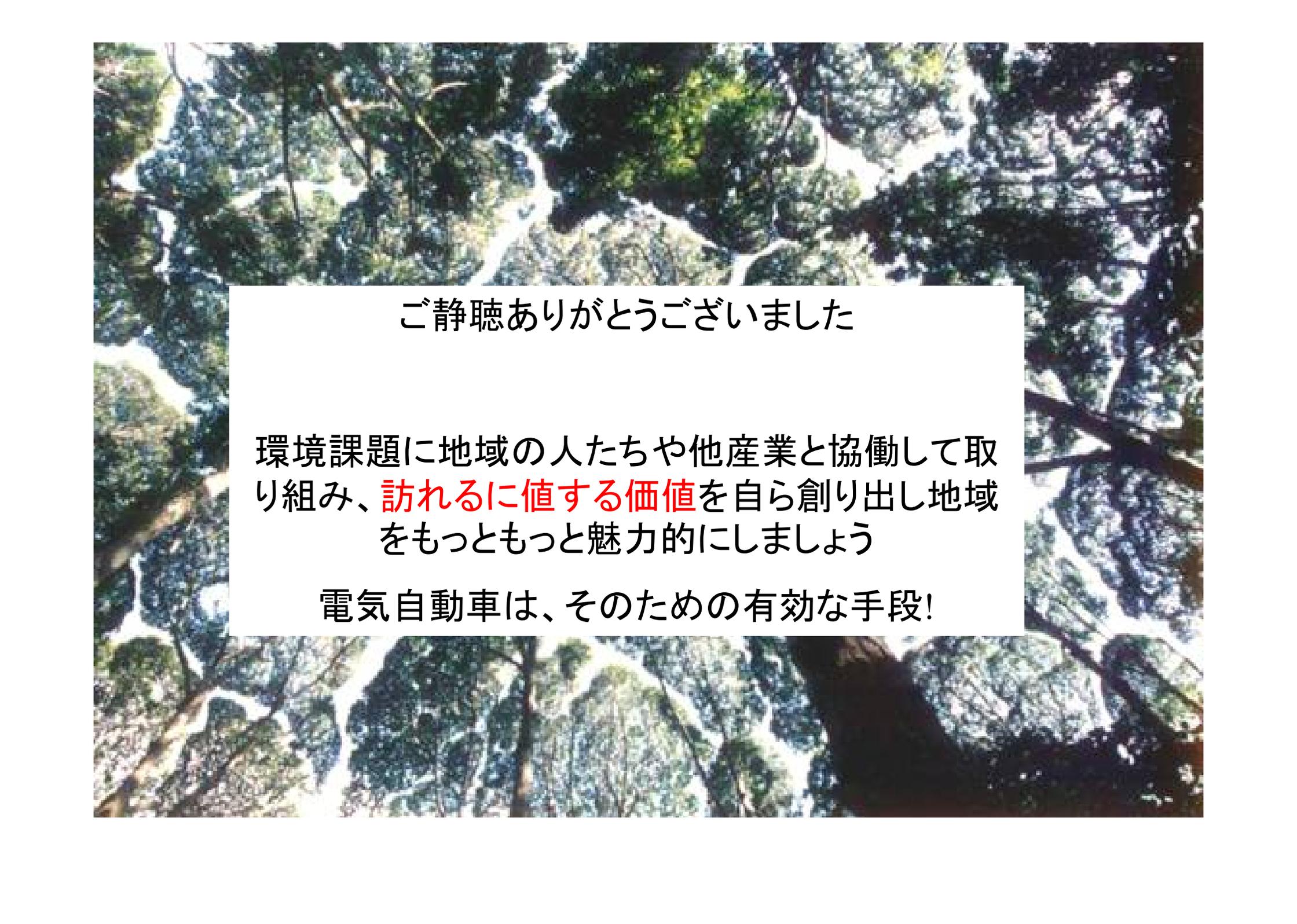
## 民間企業

- 企業コンセプトと合致する観光地と連携してのイメージ戦略
- 取り引きだけでなく**取り組み**が社会から評価される
- 観光客によるモニター

# 先進事例に見る、環境問題に積極的に取り組む これからのツーリズム

事例 レッヒ村





ご静聴ありがとうございました

環境課題に地域の人たちや他産業と協働して取り組み、**訪れるに値する価値**を自ら創り出し地域をもっともっと魅力的にしましょう

電気自動車は、そのための有効な手段!